

2016年業績目録

(2016年1月～2016年12月)

大学院

顎口腔機能制御学部門

咀嚼機能解析学

論文発表

Kaede K, Kato T, Yamaguchi M, Nakamura N, Yamada K and Masuda Y (2016) Effects of lip-closing training on maximum voluntary lip-closing force during lip pursing in healthy young adults. J Oral Rehabil **43** (3) : 169-75

森本 剛, 増田裕次 (2016) コーヌステレスコープ義歯を用いて22年間無理なく老化に対応している1症例—終末期に向けての快適な移行を目指して—. 日本顎咬合学会誌 **36** (1, 2) : 51-8

増田裕次 (2016) 咀嚼のメカニズム. 日本顎咬合学会誌「噛みあわせの科学」 **36** : 48-52

学会発表

第93回日本生理学会大会 (札幌) 2016年3月

Cerebral blood flow during adjusting voluntary lip-closing force using the visual feedback: Masuda Y, Kurose M, Takehana Y, Okamoto K and Yamamura K (The Journal of Physiological Sciences **64** (suppl 1) : S139, 2016)

日本顎口腔機能学会第56回学術大会 (鶴ヶ島) 2016年4月

外耳道ひずみの記録による簡易顎関節診断の可能性: 祁 君容, 竹花快恵, 増田裕次 (日本顎口腔機能学会誌 **22** (2) : 2015)

口すぼめ運動の方向別難易度—口唇トレーニングシステムの開発に向けて—: 竹花快恵, 山田一尋, 増田裕次 (日本顎口腔機能学会誌 **23** (2) : 2016)

第58回歯科基礎医学会学術大会 (札幌) 2016年8月

喉頭領域を支配する上喉頭神経におけるTRPV1およびTRPM8チャネルの発現: 安藤 宏, 増田裕次, 北川純一 (歯科基礎医学会プログラム抄録集: 2016)

口唇随意運動時の脳活動の変化—fNIRSによる分析: 黒瀬雅之, 岡本圭一郎, 長谷川真奈, 中谷暢介, 藤井規孝, 山田好秋, 佐藤義英, 山村健介, 増田裕次 (歯科基礎医学会プログラム抄録集: 2016)

日本咀嚼学会第26回学術大会 (広島) 2016年11月

コンビニおにぎり一つの咀嚼回数に関連する要因: 安富和子, 増田裕次 (日本咀嚼学会

プログラム抄録集：2016)

外耳道のひずみで咀嚼回数をカウントする方法：菅生秀昭，祁 君容，中村典正，倉澤郁文，増田裕次（日本咀嚼学会プログラム抄録集：2016)

日本矯正歯科学会大会（第75回）（徳島）2016年11月

口唇閉鎖調節運動における方向別難易度の特徴：竹花快恵，増田裕次，影山 徹，山田一尋（日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集：p170，2016)

ビジュアルフィードバックを用いた高齢者における随意的口唇閉鎖調節能力：土屋恵子，楓 公士郎，宮本剛至，増田裕次，山田一尋（日本矯正歯科学会大会プログラム抄録集：p174，2016)

第10回三叉神経感覚—運動統合機構研究会（佐久）2016年11月

Immunohistochemical and electrophysiological evidence of activity of TRPV1 and TRPM8 in the superior laryngeal nerve innervating the laryngopharynx and associated laryngeal regions: Mohammad Z H, Ando H, Unno S, Kondo E, Masuda Y and Kitagawa J（第10回三叉神経感覚—運動統合機構研究会，2016)

開発した咀嚼回数計数装置の信頼性：菅生秀昭，霜野良介，長井 健，奥村雅代，増田裕次（第10回三叉神経感覚—運動統合機構研究会，2016)

特別講演

第22回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会 シンポジウム—咀嚼研究のこれまでとこれから—（新潟）2016年9月

咀嚼のメカニズム：増田裕次

第35回日本小児歯科学会中部地方会大会 教育講演（塩尻）2016年10月

健康咀嚼は子供から—いま何が必要か？—：増田裕次

講演会

第12回新大阪臨床セミナー（大阪）2016年2月

生涯維持したい機能「咀嚼」：増田裕次

平成28年越谷市歯科医師会主催「歯の健康増進と食事のメニュー」2016年3月

噛むことから始まる歯と体の健康～カムカムメニュー～：増田裕次

長岡市・長岡歯科医師会主催「歯と食の健口ひろば」講演会 2016年6月

よく噛んで食べると健康に～歯と口の大切さ～：増田裕次

塩尻ロマン大学 2016年7月

口は「幸せ」のもと—口腔機能の向上で健康生活：増田裕次

高等教育コンソーシアム信州 県内大学連続市民セミナー「健康長寿を考える」2016年7

月

「噛むことで健康に一食育を地域に広める」：増田裕次
第16回日本咀嚼学会健康咀嚼指導士認定研修会 2016年8月
咀嚼の意義と健康咀嚼指導士：増田裕次
上伊那 歯科衛生士会セミナー 2016年11月
複雑な機能「咀嚼」：増田裕次

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

増田裕次：外耳道のひずみの計測波形から咀嚼回数を計数する装置の開発（挑戦的萌芽研究）（代表）

増田裕次：CTと顎運動，筋活動測定による矯正治療後の顎関節形態と顎機能の調和に関する研究（基盤研究C（分担））

増田裕次：唾液ヒスタチンによるインフルエンザウイルス感染とその誘導性炎症の抑制機構解明（基盤研究C（分担））

顎口腔機能制御学講座

生体調節制御学

著書

金銅英二，奥村雅代（分担執筆）（2016）日本口腔顔面痛学会編，口腔顔面痛の診断と治療ガイドブック，第2版，p8-12，29-35，医歯薬出版，東京

論文発表

Tadokoro O，Ando H，Kawahara I，Asanuma N，Okumura M，Kitagawa J，Kondo E and Yagasaki H (2016) Distribution and origin of VIP-, SP-, and phospholipase C β - immunoreactive nerves in the tongue of the bullfrog, *Rana catesbeiana*. *Anat Rec* **299** : 929-42

Kamimura R, Hossain MZ, Unno S, Ando H, Masu-da Y, Takahashi K, Otake M, Saito I and Kitagawa J (2016) Inhibition of the degradation of 2-arachidonoylglycerol (2-AG) attenuated orofacial neuropathic pain following an injury to the trigeminal nerve in mice. *J Oral Sci*, In Press

Bakri MM, Hossain MZ, Razak FA, Saqina ZH, Misroni AA, Murat NA, Kitagawa J and Saub RB (2016) Dentinal tubules occluded by bioactive-glass containing toothpaste exhibit high resistance toward acidic soft drink challenge. *Aust Dent J*, In Press

Zakir HM, Shinoda M, Unno S, Ando H, Masuda Y, Iwata K and Kitagawa J (2016)
Involvement of microglia and astroglia in modulation of the orofacial motor functions
in neuropathic-pain rats. JOB **58** : 17-22, in press

谷山貴一, 湯川譲治, 石田麻依子, 中ノ森晶子, 澁谷 徹 (2016) 小児交互性片麻痺患
児の全身麻酔経験. 日本歯科麻酔学会雑誌 **44** (5) : 618-20

その他の学術著作物

田所 治, 大野伸彦, 齊藤 成, Huy Bang Nguyen, 安藤 宏 (2016) 連続ブロック表面
SEMによるカエル舌の茸状乳頭上皮に分布する神経の三次元構造解析. 自然科学研究機構生
理学研究所年報 **37** : 185

学会発表

日本解剖学会全国学術集会・総会 (第121回) 2016年3月

カエル舌の茸状乳頭上皮に分布する神経の形態構造解析: 田所 治, 大野伸彦, 安藤 宏,
奥村雅代, 北川純一, 金銅英二, 矢ヶ崎 裕 (講演プログラム抄録集: p194)

International Congress on Orofacial Pain 2016 2016年9月

Unknown transcripts regulated by capsaicin application in rat trigeminal ganglion:
Ohki E, Okumura M, Tadokoro O and Kondo E (The Abstract book of ICOP : p123)

Heat, capsaicin sensation and TRPV1 genome SNPs in human: Okamoto N, Okumura M,
Ohki E, Tadokoro O and Kondo E (The Abstract book of ICOP : p130)

16th World Congress on Pain International Association for the Study of Pain 2016
年9月

Unknown transcripts regulated by capsaicin application in rat trigeminal ganglion:
Ohki E, Okumura M, Tadokoro O and Kondo E (Official Congress Program : p88)

Heat, capsaicin sensation and TRPV1 genome SNPs in human: Okamoto N, Okumura M,
Ohki E, Tadokoro O and Kondo E (Official Congress Program : p71)

自然科学研究機構生理学研究所研究会 2016年11月

カエル舌の茸状乳頭上皮に分布する神経の形態構造解析: 田所 治, 大野伸彦, Huy Bang
Nguyen, 齊藤 成, 安藤 宏, 奥村雅代, 金銅英二, 矢ヶ崎 裕 (プログラム予稿集: p11)

松本歯科大学学会 (第83回) 2016年12月

内腸骨静脈が腸骨間静脈に注ぐ重複下大静脈の一例: 吉田美加, 渡邊剛樹, 山口久穂,
宮野宏子, 田所 治, 奥村雅代, 金銅英二, 矢ヶ崎 裕 (プログラム予稿集: p2)

第58回歯科基礎医学会学術大会 (札幌) 2016年8月

喉頭領域を支配する上喉頭神経におけるTRPV1およびTRPM8チャネルの発現: 安藤 宏,

増田裕次, 北川純一 (プログラム抄録集 : p500)

Oral Neuroscience 2016 (吹田) 2016年10月

TRPV1 and TRPM8 channels expression and activity in the superior laryngeal nerve innervating the laryngopharynx and associated laryngeal regions: an immunohistochemical and electrophysiological study: Hossain MZ, Ando H, Unno S, Masu-da Y and Kitagawa J (プログラム抄録集 : Poster Session, P-3)

第10回三叉神経研究会 (佐久) 2016年11月

Immunohistochemical and electrophysiological evidence of activity of TRPV1 and TRPM8 in the superior laryngeal nerve innervating the laryngopharynx and associated laryngeal regions: Hossain MZ, Ando H, Unno S, Kondo E, Masuda Y and Kitagawa J (プログラム抄録集 : p9)

有病者歯科医療学会 (第25回) 2016年3月

麻酔中の頻脈から甲状腺機能亢進症を疑い術中の血液検査で診断された1症例: 湯川讓治, 谷山貴一, 小川さおり, 中ノ森晶子, 澁谷 徹

松本歯科大学学会 (第82回) 2016年7月

寒冷昇圧試験に伴う自律神経活動の変化に対するプロポフォールの効果: 湯川讓治, 谷山貴一, 小川さおり, 中ノ森晶子, 澁谷 徹

顎変形症手術における全身麻酔後のPONV発生要因の検討: 中ノ森晶子, 谷山貴一, 石田麻依子, 小川さおり, 湯川讓治, 澁谷 徹

日本歯科麻酔学会 (第44回) 2016年10月

福山型筋ジストロフィー症患者の全身麻酔経験: 石田麻依子, 谷山貴一, 小川さおり, 湯川讓治, 中ノ森晶子, 澁谷 徹

寒冷昇圧試験に伴う自律神経活動の変化に対するプロポフォールの効果: 湯川讓治, 谷山貴一, 石田麻依子, 小川さおり, 中ノ森晶子, 澁谷 徹

顎変形症手術における全身麻酔後のPONV発生要因の検討: 中ノ森晶子, 谷山貴一, 石田麻依子, 小川さおり, 湯川讓治, 遠藤理香, 長江麻帆, 澁谷 徹

松本歯科大学学会 (第83回) 2016年12月

Treacher Collins症候群様患者の歯科治療時の全身麻酔; 小川さおり, 谷山貴一, 石田麻依子, 湯川讓治, 中ノ森晶子, 澁谷 徹

招待講演

Oral Neuroscience 2016 (吹田) 2016年10月

Integration of sensory and motor function in the orofacial region: Kitagawa J (プログラム抄録集 : Invited Lecture, L-5)

講演会

日本口腔顔面痛学会ベーシックセミナー 2016年6月

口腔顔面痛に必要な神経解剖の知識—基礎編—：金銅英二

校友会広島県支部学術集会 2016年10月

知っておきたい痛み・情動の話—臨床の対処法から脳のメカニズムまで—：金銅英二

長野県歯科衛生士会地域歯科保健部研修会（安曇野）2016年7月

摂食嚥下に関わる生理，のどごしと美味しさと嚥下誘発：北川純一

信明中学校PTA講演会（松本）2016年11月

味の不思議：北川純一

松本歯科大学校友会滋賀県支部講演会 2016年7月

安全な歯科医療のために—モニタリングの勧め—：澁谷 徹

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

北川純一：内因性カンナビノイド分解阻害剤を利用した嚥下反射機能改善薬開発の検討
（基盤研究費C（研究代表））

北川純一：咽頭・喉頭領域におけるTRPチャンネルの生理学的機能の検討：「のどごし」と
嚥下誘発（基盤研究費C（研究分担））

研究助成

田所 治：カエル舌の茸状乳頭上皮に分布する神経，および上皮の三次元構造解析（平成28年度自然科学研究機構生理学研究所共同利用研究）

顎口腔機能制御学講座

臨床機能評価学

著書

黒岩昭弘（2016）全部床義歯学サイドリーダー 第5版 学建書院

黒岩昭弘（分担執筆）（2016）スタンダードパーシャルデンチャー補綴学 学建書院

黒岩昭弘（分担執筆）（2016）無歯顎補綴治療学 第3版 医歯薬出版

論文発表

Okada Y, Best SA, Parker RS, Levine BD and Fu Q (2016) Sympathetic neural and cardiovascular responses during static handgrip exercise in women with a history of hypertensive pregnancy. Clin Auton Res **26** (6) : 395-405

Okada Y, Jarvis SS, Best SA, Edwards JG, Hendrix JM, Adams-Huet B, Vongpatanasin W, Levine BD and Fu Q (2016) Sympathetic neural and hemodynamic responses during cold pressor test in elderly blacks and whites. Hypertension **21** (6) : 1155-61

宮原康太, 小笠原 正, 篠塚功一, 岩崎仁史, 松村康平, 岡田芳幸, 齋島弘之, 藤田恵未, 角 保徳 (2016) ジェルタイプの保湿剤を用いた介助歯磨き後の唾液中細菌数の増減. 日本障害者歯科学雑誌 **37** (1) : 16-21

篠塚功一, 小笠原 正, 岩崎仁史, 磯野員達, 轟 かほる, 岡田芳幸, 齋島弘之, 沈 發智, 嶋田勝光, 落合隆永, 長谷川博雅, 柿木保明 (2016) 経管栄養の要介護者にみられる咽頭付着物の形成要因. 障害者歯科 **37** : 22-7

三井達久, 小笠原 正, 磯野員達, 鈴木智子, 伊沢正行, 鈴木貴之, 齋島弘之, 岡田芳幸 (2016) 亜酸化窒素吸入鎮静法における臨床症状の発現時間 歯科治療前の吸入時間は何分必要か? 障害者歯科 **37** : 127-33

岩崎仁史, 小笠原 正, 篠塚功一, 轟 かほる, 小澤 章, 岡田芳幸, 齋島弘之, 沈 發智, 落合隆永, 長谷川博雅, 柿木保明 (2016) 口腔の剥離上皮膜に対する保湿剤の予防効果の検討. 日本摂食嚥下リハビリテーション学会雑誌 **20** : 86-93

対談

岩崎貢士, 黒岩昭弘, 尾崎洋美, 鈴木宏樹, 湯田亜希子 (2016) 生活を支える歯科医療. 日本顎咬合学雑誌 **36** (3) : 272-82

学会発表

第34回日本顎咬合学会学術大会 2016年6月

部分床義歯を安定化するTips : 黒岩昭弘

第34回日本顎咬合学会学術大会 2016年6月

全部床義歯の合理的な人工歯排列を再考する : 黒岩昭弘

第46回日本口腔インプラント学会学術大会 2016年9月

緩み防止機構を持ったアバットメント・スクリーピンの効果について—非線形有限要素法による解析— : 永澤 栄, 竹内 賢, 新村弘子, 黒岩昭弘

平成28年度日本補綴歯科学会東海支部学術大会 2016年11月

CAD/CAM用レジンプロックとレジンセメントとの接着における問題点 : 岡崎耕典, 中村典正, 三溝恒幸, 永澤 栄, 黒岩昭弘

第125回日本補綴歯科学会（金沢）2016年5月

各種口蓋床装着による舌圧と異物感の関係：中村典正，松山雄喜，岡崎耕典，菅生秀昭，霜野良介，平井博一郎，中本哲自，黒岩昭弘

第27回日本咀嚼学会学術大会（広島）2016年11月

外耳道のひずみで咀嚼回数をカウントする方法：菅生秀昭，祁君容，中村典正，倉澤郁文，増田裕次

平成28年度日本補綴歯科学会東海支部（長野）2016年11月

外耳道のひずみから咀嚼回数を計数できるか？：菅生秀昭，祁君容，中村典正，倉澤郁文，増田裕次

第46回日本口腔インプラント学会（愛知）2016年9月

緩み防止機構を持ったアバットメント・スクリューピンの効果について—非線形有限要素法による解析—：竹内 賢，新村弘子，黒岩昭弘

学会発表

Korean Association for Disability and Oral Health 2016年4月

The study of preventing the formation of membranous substances by using moisturizer in the oral cavity of elderly individuals with tube-feeding: Miyahara K, Iwasaki H, Shinotsuka K, Ishihara N, Higuchi Y, Izawa M, Okada Y, Haishima H, Shimada K, Ochiai T, Hasegawa H and Ogasa-wara T

日本老年歯科医学会（第27回）2016年6月

経管栄養の要介護高齢者にみられる剥離上皮膜の由来：宮原康太，篠塚功一，岩崎仁史，伊沢正行，岡田芳幸，齋島弘之，島田勝光，落合隆永，長谷川博雅，藤井 航，柿木保明，小笠原 正

咽頭の多量の付着物の除去を契機に摂食が可能となった要介護高齢者の一例：石原紀彰，岩崎仁史，井上恭代，伊沢正行，磯野員達，岡田芳幸，齋島弘之，小笠原 正

日本障害者歯科学会（第33回）2016年9月

中枢性運動障害者における歯科治療時の過緊張緩和に上田法は有効か？ 第3報—：筋緊張の経時的変化—：伊沢正行，望月慎恭，宮原康太，大岩隆則，上出清恵，佐々木隆子，小柴慶一，西連寺央康，岡田芳幸，齋島弘之，小笠原 正

笑気吸入鎮静による圧反射感受性への影響：磯野員達，岡田芳幸，三井達久，高井経之，齋島弘之，小笠原 正

障害者におけるOral Health Assessment Tool日本語版の有用性の検討：岩崎仁史，石原紀彰，樋口雄大，伊沢正行，三井達久，松村東栄，岡田芳幸，齋島弘之，中川量晴，松尾浩一郎，小笠原 正

知的障害の意思決定支援の検討—全身麻酔と身体拘束は理解できるか—：鈴木貴之，大

槻征久，大槻真理子，岩崎仁史，岡田尚則，望月慎恭，小島広臣，高井経之，岡田芳幸，齋島弘之，緒方克也，小笠原 正

笑気吸入鎮静法における臨床徴候発現時と自律神経調節との関連—直接測定と間接測定を併用して—：三井達久，樋口雄大，磯野員達，岩谷和大，河瀬聡一郎，岡田芳幸，齋島弘之，小笠原 正

口腔の剥離上皮膜がみられる患者にカンジダ菌は存在するか？—病理学的・細菌学的検討—：宮原康太，篠塚功一，石原紀彰，松村康平，久野 喬，塚田久美子，福澤雄司，井上恭代，副島之彦，嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅，岡田芳幸，齋島弘之，小笠原 正

喉頭の垂直的位置の加齢変化—簡易法を用いた計測—：齋島弘之，磯野員達，鈴木貴之，三井達久，脇本仁奈，河瀬瑞穂，河瀬聡一郎，山田晋司，牧井覚万，岡田芳幸，小笠原 正

経管栄養の要介護高齢者にみられる咽頭の付着物は何か？：樋口雄大，篠塚功一，宮原康太，轟 かほる，守谷恵未，嶋田勝光，落合隆永，長谷川博雅，藤井 航，柿木保明，大野友久，角 保徳，岡田芳幸，齋島弘之，小笠原 正

印象体の効果的な洗浄についての検討：三澤美幸，田中春菜，内田清美，石原紀彰，木村莉子，那須小夢樹，植松紳一郎，三井達久，三井理恵子，三井貴信，宮原康太，渡部義基，岩崎仁史，岡田芳幸，小笠原 正

重症心身障害児・者にみられる臼歯部歯肉形態異常の発現頻度と各項目との関連性：脇本仁奈，伊沢正行，山田晋司，穂坂一夫，薦田 智，鈴木尚子，安東信行，西山孝宏，岡田尚則，岡田芳幸，齋島弘之，小笠原 正

北信越障害者歯科臨床研究会（第7回）2016年6月

咽頭の多量の付着物の除去を契機に摂食が可能となった要介護高齢者の一例：石原紀彰，伊沢正行，鈴木貴之，宮原康太，岡田芳幸，齋島弘之，小笠原 正

中部歯科麻酔研究会（第51回）2016年6月

笑気吸入鎮静は圧受容器反射感受性を維持する：磯野員達，岡田芳幸，三井達久，小笠原 正

松本歯科大学学会（第82回）2016年7月

中枢性運動障害者における歯科治療時の過緊張緩和のための非薬物的方法の検討：伊沢正行，宮原康太，望月慎恭，岡田芳幸，齋島弘之，増田裕次，小笠原 正

疼痛時昇圧応答抑制に対する笑気吸入鎮静法の効果：磯野員達，岡田芳幸，三井達久，増田裕二，小笠原 正

経管栄養の要介護高齢者にみられる口腔の剥離上皮膜と咽頭の付着物の由来：宮原康太，篠塚功一，岩崎仁史，鈴木貴之，伊沢正行，嶋田勝光，落合隆永，岡田芳幸，齋島弘之，長谷川博雅，小笠原 正

大学・地域連携事業（塩尻）2016年1月

「健康寿命とお口の健康」：岡田芳幸

松本歯科大学市民公開講座（松本）2016年6月

「口の健康維持」でめざす地域の健康寿命延伸 「入れ歯と上手に付き合う方法」：黒岩昭弘

日本顎咬合学会 認定医教育研修会（札幌）2016年10月

咬むことから健康に貢献する健口長寿—咬合と歯周から考える—「健康な咬むことを提供するには」：黒岩昭弘

日本顎咬合学会認定医教育研修会（大阪）2016年11月

咬むことから健康に貢献する健口長寿—咬合と歯周から考える—「健康な咬むことを提供するには」：黒岩昭弘

日本顎咬合学会 認定医教育研修会（福岡）2016年12月

咬むことから健康に貢献する健口長寿—咬合と歯周から考える—「健康な咬むことを提供するには」：黒岩昭弘

日本学術振興会科学研究費補助金による研究

岡田芳幸：歯周疾患に関わる頸動脈硬化症が中枢性血圧反射感受性に与える影響（基盤研究C（代表研究者））